

大 楠



図書館キャラクター「ひと」と

51

2012 October
[平成24年10月]Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin

O a k s



情報を使いこなす！

特集

卒論に挑む！
情報収集・プレゼン発表まで

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② 特集「情報を使いこなす！」
- ⑤ News News
- ⑦ スタッフレポート
「ディスカバリーサービス
—最先端の“情報を使いこなす!”ツールとして—」
- ⑧ Information
- ⑨ Library Lovers' いよいよ3回目!
「シネマ@Library」のお知らせ

変革を 求められる 図書館



堀 正広

Hori Masahiro

外国語学部教授、図書館長。博士(文学)。
英語コーパス学会会長。
著書『Investigating Dickens' Style: A Collocational Analysis. (Palgrave Macmillan, 2004. 英語コーパス学会賞)、『英語コロケーション研究入門』(研究社、2009年)、『例題で学ぶ英語コロケーション』(研究社、2011年)、
Kaneko Tohta, Selected Haiku With Essays and Commentary Part I: 1937-1960, (共訳) (Red Moon, USA, 2012)など。

6月に金沢で開催された私立大学図書館協会西地区部会総会に出席した。大学図書館長の集まりで、東京のある大規模校の館長が次のように話された。4年間で一度も図書館を利用したことのない学生が40%いるという事実を知って授業と図書館の関係を見直したという。その後、先生方にはできるだけ課題を出していただくようお願いしたところ、図書館利用が増えたとのこと。本学には在学中4年間の図書館利用のデータはないらしいので比較はできないが、ぞっとするような数字である。また、全国の私立大学図書館での1年間の学生一人当たりの貸出冊数の平均は7冊である。学部により違いはあるが、本学は全国平均並であるが、13年前は全国平均7冊に対して12冊であった。

今年の9月、学会発表のため英国のカンタベリー市にあるケント大学を訪れた。その際、ケント大学の図書館のスタッフの方に図書館を案内していただいた。図書館の入館にはカードは不要で、返却用の本は自動返却機

で処理される。日本でも話題になっているラーニング・コモンズ (Learning Commons) はケント大学ではSocial Learning Zoneと命名され、4階建ての図書館のうち1階のスペースの半分があてられ、3つのパートにわかれていた。メールや急ぎの情報をコンピューターで確認するスペース。コンピューターを囲んで友人と議論し、共同の作業をするスペース。もう一つは個人で自由に利用するスペースである。いずれの場所でも飲食自由である。奥にはカフェがある。

書籍が並んでいたこのスペースを3年前に改築して以来、入館者は増大し、1日1万人の学生の入館者があるという。1万5千人の学生数だから3分の2の学生は毎日必ず図書館を利用していることになる。本学の学生の1日の平均入館者は千人程度である。このLearning Zoneができて授業形態は変わったという。

毎年海外の学会に出かけ、そのたびに大学図書館を訪れるが、欧米の大学図書館はこの10年間で大きく変わった。日本の大学の図書館も、今変革を求められている。今も昔も図書館は学生と教員のために、学習と研究を支援する機能は変わらない。ただ、どのような支援をするかという具体的な形が時代の変化とともに大きく変わってきている。図書の貸出しと静かに勉強する場所だった図書館は、友人と議論しながら共同作業をする場所でもある。自己学習の場は学習支援の様々なサポートの場へと変化している。

学習と研究支援の場としての図書館の変革が今求められている。



Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin

O a k s

Oaksとは…

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では、「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹回り4~5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks (Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。

特集

情報を 使いこなす!

卒論に挑む! ~情報収集・プレゼン発表まで~

学生の皆さん、レポート・論文作成で困ったことはありませんか?

レポート・論文とは、学習や調査・研究などの成果を自分の言葉で表現したものです。卒業論文、ゼミ発表、就職活動そして社会人となってからも

レポートや報告書を書くことが求められます。

皆さんは「読み手」に自分の気持ちや主張を伝え、

納得してもらうような文書が書けていますか?

書くためには、まず情報を探索して収集することが大切です。

今回は、文書作成に必要な関連文献の調査に役立つ「図書館の機能」を

経済学科 2年 穴井さんの卒業論文作成を例にご紹介します。

ユニクロって…

- 「顧客満足」がモットー
- 売り上げを伸ばし、且つ利益も上げている
- モノ・人（店員の仕事）も商品
- お客が持っている価値観を重要視している

アルバイト先が
「ユニクロ」*だから、
卒論で取り上げて
みたい!

*アルバイト先は架空の設定です。

STEP
1

卒業論文の テーマを決める

- はじめが肝心、調べるための入口。



経済学部経済学科 2年
穴井 嘉浩さん

STEP 2 情報を集める

熊本学園大学OPACを使うと、
図書館のどこに何の本があるか
すぐに見つけることができるよ！



OPAC検索

『ユニクロ』に
関係する本を
探してみよう...



こんなに沢山の
関連図書が！



さっそく借りて
読んでみよう

もっとテーマに沿った
キーワードを探そう。

キーワードの意味が分からない場合は、
その言葉について調べよう！

2階 参考図書コーナー

「現代用語の基礎知識」
(毎年発行) 新語・新知識事典
(話題になった事項が詳しく掲載)



用語辞典・専門事典・
百科事典
事柄やことばについて調べる

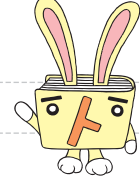
図書以外の意味調べなら

ジャパンナレッジ
百科事典・辞書・ニュース・
学術サイトURL集を
集積した知識データベースを
一括検索できる。



STEP 3 データベースを活用

データベースを使うと、
効率的に資料を探し出すことができるよ！
資料をコピーしたら出典を書いておこう。



データベース検索

データベース = 情報基地

〇〇という論文が△△という雑誌に載っているかどうかを調べるためのもの。



日経テレコン21

日本経済新聞などの記事をはじめ、
企業、人事、マーケット情報が検索できる。



magazineplus

一般誌や専門誌などの記事を検索できる。



CiNii Articles

大学や学会などの発行物に収録された
論文を検索できる。

データベースの入り口

1 図書館HPより
「データベース」をクリック



2 データベース一覧が
表示されます。

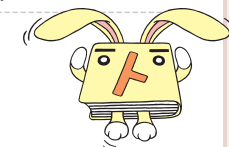


◎文献情報検索システム利用統計
(データベース)

システム	2009年度 件数	2010年度 件数	2011年度 件数
ジャパンナレッジ	448	399	431
日経テレコン21	113,225	184,178	151,053
magazineplus	2,754	2,249	2,498
CiNii機関定額制	15,858	19,927	21,684

STEP 4 情報の整理・分析

STEP2～3の作業を繰り返して行うことで、
より網羅的に集めることができる。
そして、集めた資料を分類・整理し、
評価・分析をする。
また、内容をもっと充実させるために、
統計類(日本・世界の統計、
日本・世界国勢図会)
白書類(経済財政・厚生労働白書)などの
調査報告書も活用しよう！



疲れたな...
ちょっと一息

1階 スタディールーム

友達と話しながら
学習することができるよ。
水分補給も
この場所なら大丈夫！



まとめ

いかがでしたか？ ステップ1～5の手順で情報収集をすれば、
文献をうまく探せない、集めた文献を整理するのがむずかしいと悩んでいた人も大丈夫！
情報を扱う基本的な手順と方法を知っておけば、使い次第で、
あなたの可能性は無限大に広がります！ これで卒論も怖くない！
情報リテラシー(情報を主体的に活用する能力)を身につけ、自ら考え、行動していきましょう！

調査の方法やデータベースの利用で
わからない事があったら
図書館員に聞こう！

本学に所蔵のない図書や
雑誌のコピーを他大学から
取り寄せることもできます。

(2階 レファレンスカウンターへお気軽にご相談ください)



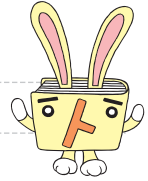
卒論の仕上げへ

指定された書式に仕上げて完成！
引用した文献の出典もお忘れなく。



STEP 5 <卒論の中間報告> プレゼン発表へ

図書館ではノートパソコン、
プロジェクター、書画カメラを
貸出しています。



プレゼンテーションの準備 機材の確認・リハーサル



グループ学習室で発表



図書館活用例 ゼミ発表 子ども家庭福祉学科1年 入門演習

テーマ「熊本動植物園を活性化させよう」

将来保育者として子どもたちを引率していくことになる熊本動植物園の活性化策に各グループで取り組みました。現地調査はもちろん、図書館や図書館スタッフの方の強力な支援を頂き、他園の取り組みを扱った新聞記事をデータベースで検索したり、異なるジャンルのイベント等の文献も収集したりしました。収集資料を基に、各グループで議論しながら分析・考察を加え、パワーポイントや自作の絵本等を使って斬新な提案を行いました。これらの過程を通して、「同じテーマでも、答えや答えに至る手段や方法は一つではなく、発表方法により人への伝わり方も違ってくる」という大学での学びの楽しさと、友だちと議論し協力して物事を成し遂げる面白さを、学生自らが気づいてくれたようです。



社会福祉学部 講師
栗原 武志

1 新入生ガイダンスに 89ゼミ1,247名が参加

利用者(学生)に大学図書館とはどういうところかを理解してもらい、学習活動の中で図書館を有効利用してもらうための基礎的な支援として昭和60年から実施しています。今年も全学部の基礎ゼミ(新入生89ゼミ1,247名)の「新入生ガイダンス」を実施しました。

地下書庫見学後、クイズ形式の「ライブラリー探検」でフロア内の8つのチェックポイントを巡りながら自由に散策してもらいました。説明をただ聞くだけではない体験型のガイダンスは、今年で2回目となります。新聞縮刷版で自分の誕生日の曜日を調べたり、和雑誌(最新号)の特集名を記入したりと、所要時間40分をフルに使って館内を回りました。チャレンジ問題(OPAC検索やデータベースを用いた新聞記事検索)は、翌週にゼミ担当の教員を通じて提出してもらったところ、回収率は60パーセントとなりました。



●ライブラリー探検



●貴重書展示

約6,000冊の貴重資料の中から、マルクスの「資本論」(ドイツ語初版)やイギリス救貧法コレクション、松田道雄文庫の「育児の百科」を展示しました。

2 ステップアップガイダンスは 18回実施(268名参加)

例年、新入生ガイダンスが一段落する5月末から、より発展したレベルでの図書館利用を目的とした「ステップアップガイダンス」を実施しています。対象は1~4年生。昨年から新入生ガイダンスの翌週にステップアップガイダンスを希望するゼミが多く、今年も参加の大半を基礎演習の1年生が占める結果となりました。(18回(268名)実施中12回は1年生(195名))

ガイダンスの内容は「レポート・論文の書き方」「プレゼンテーションの方法」のDVD視聴と「雑誌記事・新聞記事」のデータベース検索です。資料収集の方法を知りデータベースを活用することで情報を効率よく見つけることができ、また自分にとって必要な情報かどうかを見分ける力もつきます。

情報リテラシー(情報を主体的に活用する能力)は大学生生活、ゼミ発表、レポート、卒業論文作成そして社会に出てからも必要不可欠です。これらが4年間で十分身につくよう図書館ではバックアップ体制を整えています。

3 データベース講習会を 実施しました(日経テレコン21)

日経メディアマーケティングから講師を招いて6月15日(金)に、「日経テレコン21」のデータベース講習会を開催しました。2~3年生を中心とした15名の参加があり、企業情報の検索など就職活動に役立つ内容の実習となりました。

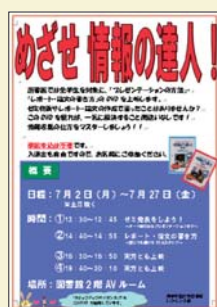
図書館では、定期的にデータベースの利用講習会を開催しています。講習会の開催情報は図書館のHPや掲示でご確認ください。



4 「めざせ!情報の達人」 ~DVD上映会~

図書館利用教育の一環として、「レポート・論文の書き方」と「プレゼンテーションの方法」のDVDを上映しました。春学期定期試験の準備のために、図書館へ足を運んだ学生を対象に7月2日~7月27日まで開催したところ、8名が視聴しました。

レポート作成やゼミ発表に役立つ情報が満載です。このあとは、12月に実施することになっています。



5 「阿部野利恭・高橋守雄 両先生 特別展」を開催

熊本学園創立70周年記念 近代熊本の巨人「阿部野利恭・高橋守雄 両先生 特別展」を70周年記念事業推進本部との共催で、5月10日から6月20日まで図書館1階の展示コーナーで開催しました。大学の前身の東洋語学専門学校の阿部野利恭初代校長と、熊本商科大学の高橋守雄初代学長の功績を振り返るもので、両氏の足跡をまとめた『近代熊本の巨人』の著者である徳永洋招聘教授がコーディネイトし、2001年の「松田道雄文庫展」以来の展示イベントとなりました。

特別展には、本学所蔵の32冊の図書と勲章・色紙・自筆書・写真など20数点が飾られ、とくに5月26日のホームカミングデーの日には卒業生や市民など多くの見学者がありました。



6 震災報道新聞展

「震災報道新聞展」は、5月26日(木)～6月9日(土)の2週間にわたり図書館1階で開催されました。この新聞展は学生団体「Bee Net 3.11」によって企画されたもので、熊本日日新聞社の協力を得て、岩手日報、河北新報、福島民報、福島民友の4社が発行した震災当時の新聞およそ100点を展示しました。

「Bee Net 3.11」は、県内3大学の学生8名から組織された団体で、東日本大震災後、「被災地の復興のために熊本で自分たちにできること」を目標に活動しています。東日本大震災から1年が経過した今年の3月、新聞展を本学図書館で開催させてもらえないかと相談を受けました。学生が主体的に取り組んだ展示企画は図書館としては初めてのことでしたが、期間中は、学生が主催した震災への復興支援活動ということで、新聞各社からの取材もありました。



7 オープンキャンパス2012

7月22日(日)・8月8日(水)・10月13日(土)に開催されたオープンキャンパスでは、県内外から保護者を含む入館者1,066名が来場しました。スタンプラリーの一環として図書館では「ライブラリー探検」を企画し、高校生や保護者へ大学図書館の雰囲気を味わってもらいました。

図書館キャラクター「ひのと」と「しおりちゃん」(等身大)が見学者を出迎え、「ライブラリアン」「アヒルと鴨のコインロッカー」の映画上映会をアピールしました。このほかにも手作りのポップを添えた本屋大賞受賞本や学部関連図書

の展示、新聞記事のデータベース検索演習を行いました。



8 日韓グローバルインターンシップ

6月8日(金)～7月27日(金)の2ヵ月間にわたり、韓国の専門学校生 丁娟玉(ジョン ヨン オク)さんが本学でインターンシップを行いました。

熊本市国際交流振興事業団から本学へ受け入れの打診があり、図書館、教職・実習課、学生課、企画課の各部署で就業体験を行いました。丁さんからは「図書館のことがよくわかった」「大学という組織の中で図書館の役割が理解できた」「将来の夢・なりたい職業が見つかった」といった感想をいただきました。



9 熊本国府高等学校インターンシップ

7月25日(水)～27日(金)の3日間、熊本国府高等学校普通科2年生の男子生徒3名がインターンシップを行いました。雑誌・閲覧業務は力仕事も含まれており、地下書庫の棚移動では皆で協力しながら手際よく処理していました。最終日は図書館の所蔵する貴重図書(マルクス資本論、松田道雄文庫、イギリス救貧法)を閲覧しました。目を輝かせてスタッフの説明を熱心に聞く姿が印象的でした。



10 ナイストライ

9月11日(火)～13日(木)の3日間、熊本市立帯山中学校の2年生が本学図書館で職場体験学習を行いました。同校の「ナイス・トライ事業」推進の依頼を受けて毎年この時期に行っているもので、今年は5名の生徒が地下書庫の棚移動や図書目録の作成について取り組みました。





ディスカバリーサービス

—最先端の“情報を使いこなす!” ツールとして—



1 ディスカバリーサービスとは

ディスカバリーサービスとは、近年、国内の大学図書館で導入され始めた、新しい情報検索手段の総称である。

現在、大学図書館が提供する資料・情報は、紙媒体の図書や雑誌に限らず、インターネット上のデータベース・電子ジャーナル・電子ブック・機関リポジトリなど、多岐に渡っている。また紙媒体の資料についても、OPAC（オンライン蔵書目録）検索を介しての利用が多い。しかし、これらの情報ツールは、検索方法や収録対象がそれぞれ異なっている。

例えば、「九州における産学連携」について調べたい場合、より多くの情報を求めて利用する情報ツールを増やそうとすると、『九州 産学連携』などのキーワードを使い、OPAC・データベース・電子ジャーナル・機関リポジトリのそれぞれに対して、複数回、同じ検索を行なう必要がある。この場合のデメリットは、単純に検索の回数が増えて手順が煩雑になるというだけではない。そもそも事前にそれぞれの情報ツールの存在と利用方法を知っていなければ、求める情報に辿り着くこと自体が困難なのだ。また、うまく使いこなさず、求める情報に辿り着けたとしても、複数のツールで同一の資料が提示されてしまうなどの検索結果のノイズを取り除き、情報を取捨選択する必要がある。

しかし、ディスカバリーサービスが導入済みの場合、利用者は一回だけ検索を行えば、図書館が提供する全ての資料・情報の中から関連する情報を見つけることができる。

ディスカバリーサービスとは、その名の通り、利用者が自分の求める情報をより簡単に「discovery = 発見」するためのツールなのだ。

2 ディスカバリーサービスの特性

何故、ディスカバリーサービスでは情報の検索が簡単になるのか。それは、ディスカバリーサービスと既存の検索システムの違いにある。

ディスカバリーサービスよりも早く導入されていたのが、電子情報に対する「横断検索」である。横断検索では、利用者が入力したキーワードを複数のデータベースや電子ジャーナルなどのツールへと送り、それぞれのツールから返ってきた検索結果を一つの画面に表示するのが一般的だ。一度の検索で複数の情報ツールが検索できるという点では、ディスカバリーサービスと同じように見えるが、ツールごとに検索方法（キョ

ワードの完全一致や前方一致など）が異なっている場合に対応できないことや、複数のツールから同一の資料が検索結果として返ってきてしまうノイズを取り除けないこと、検索結果表示までのスピードが遅くなりがちであることなど、問題も多かった。

一方ディスカバリーサービスでは、対象となるツールの情報をまとめて整理したデータを事前に構築し、それに対して検索を行なう。そのため、同一の資料が検索結果に重複して出ることではなく、「この資料は、このデータベースと、この電子ジャーナルとこの本に載っています」というように、分かりやすく利用者に提示される。また、検索対象が単一のため、利用者はキーワードの入力方式を対象によって変更する手間を省けること、結果が返ってくるまでの速度が比較的速いことも、特徴である。

3 ディスカバリーサービスの今後と熊本学園大学での可能性

このように、利点ばかりに見えるディスカバリーサービスであるが、国内で実際に導入している大学図書館はまだ少ない。2010年4月稼働の慶応義塾大学、2011年5月稼働の佛教大学、2012年4月稼働の立命館大学が主な導入事例である。導入が進まない最大の理由は、現在ディスカバリーサービスを提供している会社も、対応しているデータベースも海外のものが大半で、日本国内のデータベースでディスカバリーサービスに対応しているものが非常に少ない、という点であろう。今後日本国内でディスカバリーサービスがより普及し、この問題が改善されていくことに期待したい。

当然ながら、ディスカバリーサービスが検索対象とする情報は大学図書館が契約している有料の情報が大半であり、一般サイトの情報を対象に検索を行なうGoogleやYahoo!などのサーチエンジンよりも精度の高い学術情報に絞って、情報を探ることができる。その為、情報探索技術が未熟で、安易に検索できるサーチエンジンに頼ってレポートや論文を作成してしまうような学生にこそ、ディスカバリーサービスは最適だと言えるのではないだろうか。

本学でも、多数のデータベースを契約しているだけでなく、2011年度より雑誌の電子ジャーナルへの切り替えが始まり、機関リポジトリも公開に向けて準備中、と資料・情報源の電子化は急速に進んでいる。近い将来、学生の学習・研究をより強固にサポートするために、ディスカバリーサービスの導入を検討する必要があるかもしれない。

（図書情報課 廣松 亜矢子）

【参考文献】(1) 文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会、大学図書館の整備について（審議のまとめ）：変革する大学において求められる大学図書館像、2010-12、http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm 【最終アクセス日2012-10-01】
(2) 飯野勝則、佛教大学図書館におけるSummonの導入—ディスカバリーサービスとシステム連携—、情報の科学と技術、2011.61(9):355-60。
(3) 安東正玄、ディスカバリーサービス：知っておきたい基礎知識、医学図書館、2012.59(1):18-21。

[図書館からのお知らせ]



本学学生・一般利用の方

開館時間の変更

図書館の開館時間を次のように変更しました。
平成24年6月1日から実施しています。

		変更前	変更後
授業試験期間	平日 及び土曜日	9:00～23:00	9:00～22:00 但し、1月・7月と試験期間中は、 9:00～23:00とする
	日曜日	10:00～17:00	10:00～17:00
休業期間	平日 及び土曜日	9:00～23:00 (2、3階は21:00まで)	9:00～21:00
	日曜日	10:00～16:00	10:00～16:00

時季により3つのパターンの開館時間となります。閉館時間が繰り上がった時季もありますが、祝祭日、夏期一斉休業、年末年始休業をのぞく平日及び土曜日、日曜はフルに開館しています。これからもお好みの時間帯に沿った利用をお待ちしています。



本学学生

機関リポジトリ申請と
講習会開催報告

積年の課題である機関リポジトリの構築に向けて、国立情報学研究所(NII)の提供する共用リポジトリサービスJAIRO Cloudへ利用申請を行ないました。

またそれに伴い、本学において、九州地区の5機関が参加する講習会が下記のとおり開催されました。

平成24年度 JAIRO Cloud システム講習会

- 日時：2012年8月3日(金) 13:00～18:00
- 会場：熊本学園大学 1449教室
- 内容：コンテンツ登録の準備作業、
コンテンツの個別登録、
コンテンツの一括登録、画面レイアウト変更、
ユーザ管理機能、その他、質疑応答

参考[JAIRO Cloud]

<https://community.repo.nii.ac.jp/>

本学学生

新規データベースのお知らせ

就活生へ耳寄り情報!

●西日本新聞記事データベース「パピルス」が
利用できます!

「パピルス」とは、西日本新聞の朝夕刊(最終版)と九州7県の地方版及び編集特集の全記事(1989年1月～前日まで)がテキスト形式で検索・閲覧できるデータベースです。就職活動に大いに役立てましょう。(運用開始:2012年4月)

●World Constitutions Illustrated
(世界の憲法データベース)

世界各国の憲法に関する文書、書籍や学術論文、レファレンス書誌などを1つのライブラリにまとめた新しい法的研究のためのプラットフォームです。190カ国以上の現在の憲法について、オリジナルテキストがその国の言語と英語で収録されています。(運用開始:2011年秋)



本学学生

KGU学生ポータルサイト
活用してますか?

平成24年4月から、大学情報の入口となる「KGU学生ポータル」のサイトが利用できるようになりました。大学の各部署からのお知らせや災害緊急時の情報が配信されます。(Web版・モバイル版)

ログインすると、授業連絡・就職セミナー開催のほか、図書館からのイベント情報(シネマ@ライブラリーやデータベース講習会)をいち早く知ることができます。ぜひご活用ください!

※メール通知設定の登録・更新もお忘れなく。



library overs 2012

九州地区大学図書館合同キャンペーン

●2012年10月22日(月)～11月19日(月)



キャンペーン

EVENT 合同メイン企画 本で、旅する。九州文学地図

1

九州の土地・地域や九州出身の人物が出てくる小説及び九州出身の作家の作品について、小説名、著者名、地名、地域名(もしくは作家の出身地)、描写そしてコメントを募集します。投稿された用紙はそのまま大きな九州地図の上に貼付していきます。(著者名:梶尾真治や小山薫堂など)

プレゼントキャンペーン 参加者の中から抽選で50名にQUOカード(500円分)が当たる!

EVENT 合同サブ企画 大学図書館貸出ランキング

2

「Library Lovers」キャンペーン参加館での貸出ランキングを紹介し、「総合ランキング」「分野別ランキング」をHP上で公開するとともに、「Library Lovers」キャンペーン参加館で掲示をします。

イベントの詳細は館内掲示・チラシをご覧ください。

シネマ
@
Library

シネマ@Library

今年も上映会を開催しています。授業の空き時間にいかがですか?

平成18年にスタートしたシネマ@Libraryも、今年で6年目を迎えました。学生の皆さんはもちろん、教職員や地域の方々にも図書館に気軽に足を運んで欲しい、皆さんと図書館スタッフの触れ合う機会をもっと増やしたいという思いから毎回上映を行っています。地下のAVホールは図書館にしながら映画館のような雰囲気で映画を楽しむことができます。芸術の秋、お友達と一緒にぜひお越しください。もちろんお一人でもどうぞ! 多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

秋のラインナップはこちら。お楽しみに!



10/10(水)
14:40～(83分)
その街の子ども
(2010年 日本)



11/9(金)
13:30～(90分)
にんじん
(2003年 フランス)
(日本語吹替)



11/28(水)
14:40～(110分)
ルイーサ
(2008年 アルゼンチン/スペイン)
(日本語字幕)



12/14(金)
13:30～(137分)
闇の子供たち
(2008年 日本)



LIBRARY
DIARY

図書館日誌

2012年4月～2012年9月まで

図書館行事

- 4月3日・入学式
- 4月16日～6月6日・新入生ガイダンス
- 4月29日・休館(昭和の日)
- 5月3日～5月5日・休館(憲法記念日、みどりの日、こどもの日)
- 5月16日・図書館委員会
- 5月29日・図書館委員会
- 5月30日・休館(創立記念日)
- 6月3日・大学懇談会(熊本地区) 保護者へ図書館開放
- 6月11日～7月27日・日韓グローバルインターンシップ
- 6月13日・図書館委員会
- 7月10日・図書館委員会
- 7月16日・休館(海の日)
- 7月22日・オープンキャンパス 図書館開放
- 7月25日～7月27日・国府高校インターンシップ
- 8月3日～9月9日・夏期休業期間の長期貸出
- 8月8日・オープンキャンパス 図書館開放
- 8月10日～8月19日・休館(夏期一斉休業)
- 9月11日～9月13日・帯山中学校ナイスライ
- 9月17日・休館(敬老の日)
- 9月22日・休館(秋分の日)

見学者

- 4月4日・くまもと清陵高等学校(20名)
- 6月22日・慶誠高等学校(21名)
- 7月2日・八代東高等学校(11名)
- 7月4日・熊本商業高等学校(40名)
- 7月5日・大分鶴崎高等学校(41名)
- 7月8日・別府大学司書課程(32名)
- 7月10日・熊本国府高等学校(90名)
- 7月24日・由布高等学校(15名)
- 7月30日・菊池高等学校(70名)
- 8月9日・大田大学より韓国研修団(23名)
- 9月20日・鹿南中学校(17名)

編集後記

キャンパスの銀杏並木も黄色く色づきはじめてきました。季節は秋。大学祭、Library Lovers'、図書館実習と賑やかな行事が続きます。創立70周年という節目の年に際し、図書館もさらに充実した機能を備えるべく、機関リポジトリや情報リテラシー支援を目指して、スタッフ一同頑張ります。(K・T)

熊本学園大学 図書館報

大楠 第51号
2012年10月31日

編集・発行/熊本学園大学附属図書館
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL(096)371-8047(直通) FAX(096)362-5967
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

携帯電話・スマートフォンから
本学図書館の蔵書検索ができます。



機種によっては、
正しく表示されない場合がありますのでご了承ください。